



しののめだより

令和5年度第13号

令和5年10月30日発行

富士東高校情報交換ひろば



1年生、2年生の「しののめ探究」近況です。まずは1年生。谷先生の講義から。

【1年生】探究を説得力のある報告にするための基本技術とは？（静岡県立大学教授 谷 晃 先生）

- 1 SDGsにかかわる研究事例
- 2 探究の基本技術（調査方法、根拠、発表の流れ）
- 3 現場を見ることの重要性
- 4 SDGsの17の目標を見渡して研究を進める（ひとつの目標にとらわれすぎない）

本校卒業生で、学生アドバイザーとしてサポートが予定されているMさんの研究事例「街路樹による大気浄化」が紹介されました！

憧れの静岡県立大学の教授にお話を聞くことができ嬉しかった。街路樹を活用して大気浄化をさせ、それをSDGsに絡めて追究していくのが、とても自分には思いつかない発想で興味深かった。SDGsのターゲットはすべてにおいて良いことのみかと思っていたが、例によってはデメリットがあるのに驚いた。（Iさん）

自分が探究する中で得た情報を活用するのは簡単ですが、吟味することは難しい。多面的に考えるということが最も重要であり、二律背反が起こらないように気をつけることで、説得力のあるものが求められる。現場に行くことで過去の事例を見つけたり、探究の中核になるものを知ることができたりと、重要なことがわかる。（Sさん）

探究の内容は決めたけど、そのテーマの中に特に何を注目して進めるべきかがよくわからなかったので良かったです。自分が日頃から気になることをSDGsと一緒に解決できるような策を考えようと思います。また現場に行くことで身をもって問題を感じることができ、問題が自分のことのように思え解決につながると思った。（Yさん）

情報は多くのところから得ることができるけど、人と話したりグループで話し合いをすることで、自分の考えられなかった人に気づくことができるとわかったので、意識して情報を得ていきたい。情報を多面的に見る事で、より色々な状況を考えて伝えられる内容になるように、情報を分析していくことが大切だとわかった。（Wさん）



探究をする際は、プラスの面、結果に注目しがちなので、マイナスの面も考えることも大切だと学びました。データ収集もひとつではなく、複数のものを用意、またネットだけでなくいろいろな情報を得ることが解決方法をたくさん考えられることにつながることを知ることができたので、参考になりました。（Hさん）

自分では思い浮かぶことができなかった調査方法や探究の進め方がよくわかりました。また「いろいろな視点立場から物事を見る」「解決策は決して一つではない」「自分が持っている情報は必ずしも正しいというわけではない」という、今まで気づくことができなかったことに気づくことができ、とても楽しかったです。（Iさん）

研究をする時に見る資料をはじめから信じてはいけなし、全体を見渡して総合的に判断しなければいけないという、研究において大切なことを知ることができた。実際に現場に行くこととよくないこともわかるから、自分の目で見る大切だとわかった。一つの目標を達成させようと思っても他の目標に悪影響になるから難しい。（Yさん）

レポートは一つの論文だけが正しいと思わず、いくつかの情報を集めて総合的に物事を見るようにしたいと思いました。そのためにはメリットとデメリットを明確にし、新聞や先輩の論文（学術研究）などを使って調査することが大切。現場を見ることも大切なので、実際に実験をしたりして良いレポートを作りたい。（Yさん）

【1年生】問いを立てる。問いを深める。仲間とやってみよう！

カードゲームを使い、楽しみながら「問う力」を鍛えました。



「問いを立てる&深めるワーク」振り返り

- ・ 問いを考える面白さ
- ・ 仲間のアイデアや発想への気づき、など

普段自分が考えないような発想を周りの人がしていて面白かった。
今回の遊びで自分がわからない問いがあったとしても友達に聞けば発想の転換などもできていいのかなと思った。たくさんの人と関われば関わるほどその人の感性などの共有できていいと思った。

【1・2年生】学生アドバイザー8人が社会課題を語る!!!

10月21日(土)の学校公開のメニューは「各教科の授業」+「しのため探究」+「中学生向け授業体験」+「校外活動トークセッション」+「部活動見学」。200人以上の中学生及び保護者の皆様に御来校いただきました。このうち、「校外活動トークセッション」は第8号で紹介した2人による活動報告。この紙面では、「県大生講座」の詳細と、生徒の振り返り(1年生…①、2年生…②)を紹介します。

体育館2階

体育館1階

1 貧困をなくそう



A)日本の貧困問題について考える

日本国内における貧富の格差や貧困率の高さを示すことで、国内外における貧困問題について考えました。

貧困が本当に深刻なものであり、2種類あるなんて知らなくて新たな発見ができた。① やっぱり大学生は外国に行くなど経験しているので感覚が違う。②



3 すべての人に健康と福祉を



E) 2025年問題、あなたは どうする?

日本では2025年に超高齢化社会に突入します。このことが社会に大きく与える影響について考えてみました。

いろいろなことが近年のうちに起こることを知りました。自分から行動する力や新しい視点から解決策を見つけることが大切であると学びました。①



4 質の高い教育をみんなに



B)学力を決定するのは何か。

学力は自分の努力によって決定する? 学力は何によって決まるのか、学力とは何か考えてみました。

文化資本というものを新しく学びました。① 学力の決定要因に環境が関係していると思わなかった。知らない分野の話聞くことで知識が広がった。②



4 質の高い教育をみんなに



F)もっと学校に来るのが楽しみになるかもしれない教育の話

教育格差という課題を解決するために行われている取組や教育格差の解決策についてのお話でした。

知識がないゆえに偏見を持ってしまい、騙されてしまう。世界はあまり良い状態ではないので、世界で協力して良い環境づくりをしていくことが大切だ。②



5 ジェンダー平等を実現しよう



C)安心できる居場所って?

普段友達や先生には言い出しにくい「家」についてお話しします。家族をジェンダーの視点から紐解きました。

大学では自分の興味のあることについてとことん学ぶことができるので、自分も今のうちから見つけておきたいと思った。先輩たちかっこいい! ①



5 ジェンダー平等を実現しよう



G)「男らしい」「女らしい」ってなに?

身の回りに数多く存在するジェンダーステレオタイプをなくすために何ができるのか考えました。

どの講座でも「ひとりひとり」という言葉が関連していた。自分ごととして考えたり、身近な問題を知ったりすることで、自分なりの解決策を持ちたい。②



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



D)情報リテラシーとは?

インターネット社会を正しく生き抜くため、自分で考えて情報を取捨選択する方法や、必要性についての講義でした。

大学生になるとこんなにたくさんの視点から見えるようになるのかなと思った。① 情報を鵜呑みにせず、自分で主体的に読み解く必要がある。②



13 気候変動に具体的な対策を



H)気候変動とは?

気候変動とはどのようなものか。気温が上がるとどうなるのか。その対策は何か。などについて考えてみました。

気候変動の内容が印象に残りました。8000円の炭素税を導入するとなると、家庭の暮らしがレジ袋の件と同じく変化するのではないかと思います。①

